

平成31年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算。

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月5日から7日までの3日間、特別会計及び下水道事業会計は3月8日に審査が行われました。定例会最終日には、津本裕子一般会計予算特別委員長と永田政弘特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計を賛成多数で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。

市長の提案説明の概要は以下のとおりです。

〔一般会計〕

予算総額は663億4千6百万円で、前年度当初予算に比べ

2・2%、14億百万円の増となっております。小平市が魅力ある町として、持続的に発展していくための事業に積極的に取り組む予算としています。

〔歳入〕市税が8億8千9百万円の増のほか、税連動交付金は3千2百万円の増を見込んでいます。これに伴い、普通交付税は1千百万円の減を見込んでいます。

〔国民健康保険事業特別会計〕

予算総額は百68億6千6百万円で、前年度当初予算に比べ1・1%、1億9千5百万円の減となっております。

〔歳入〕保険料は前年度に比べ0・3%、約9億10百万円の減で計上しています。一般会計繰入金を23億5千万円、国民健康保険事業運営基金から5千万円を繰り入れ収支の均衡を図ります。

〔歳出〕予算総額の6割強を占める保険給付費は、前年度と同額の百10億円を計上しています。

〔後期高齢者医療特別会計〕予算総額は43億4千9百万円で、前年度当初予算に比べ3・5%、1億4千7百万円の増となっております。

〔歳入〕保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。

〔歳出〕広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費等を計上しています。

後期高齢者医療の被保険者数は前年度に比べ、600人増の2万2千9百人を見込んでいます。

〔介護保険事業特別会計〕予算総額は百35億4千5百万円で、前年度当初予算に比べ3・8%、4億9千7百万円の増となっております。

〔歳入〕保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計繰入金等を計上しました。

〔歳出〕保険給付費を4・1%、約4億8千5百万円の増を見込んでいます。

要支援要介護認定者数は、前年度に比べ2・9%増の9千2人を見込んでいます。

〔下水道事業会計〕

平成31年度予算は地方公営企業法を適用した公営企業会計予算として編成しました。

〔収益的収入及び支出〕下水道使用料等の収益的収入を43億4千9百50万9千円、下水道施設等の維持管理費用である管渠費等の収益的支出を39億7千4百11万2千円計上しています。

〔資本的収入及び支出〕建設に係る企業債等の資本的収入を11億9千9百69万2千円、建設改良費等の資本的支出を21億1千6百84万7千円計上しています。

平成31年度予算総額

(単位:千円、%)

	31年度予算額	30年度予算額	伸び率
一般会計	66,346,000	64,945,000	2.2
特別会計			
国民健康保険事業	16,866,000	17,061,000	△1.1
後期高齢者医療	4,349,000	4,202,000	3.5
介護保険事業	13,545,000	13,048,000	3.8

	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収入	支出	収入	支出
下水道事業	4,349,509	3,974,112	1,199,692	2,116,847

下水道事業は平成31年度から公営企業会計に移したため、平成30年度予算額との比較はできません。

一般会計予算に対する 各会派の討論(要旨)

賛成 市議会公明党

会派要望に沿った一定の事業展開がなされている

賛成の理由を以下に述べる。①中学校通学路への防犯カメラ新設を評価する。②女性相談室の人員体制充実を評価する。③認可保育園の新設など努力を評価する。④期日前投票で一定の拡充がなされる。⑤高齢者の地域の居場所づくりへの支援を注視する。⑥部活動指導員配置等は教員の働き方改革への会派要望に合致するものである。③市民窓口業務改善による費用対効果を今後検証する。④家庭ごみ有料化及び戸別収集化は市長が先頭に立ち説明責任を果たすと同時に市民理解の浸透を図るため引き続き丁寧な対応を要望する。⑤第四期長期総合計画策定は市民参加、協働をさらに推進し特色あるまちづくりに取り組んでほしい。以上を申し述べ賛成討論とする。

賛成 フォーラム小平

中長期の視点で編成された適正な予算と判断

都市基盤整備など喫緊の行政課題への対応とともに、中長期の視点をもって編成された適正な予算と判断し賛成する。なお、①公共施設マネジメントは市民理解を得るための不断の努力が必要不可欠である。②オリピック・パラリンピック関連基金の事業の方向転換に当たり説明責任を果たしていないことは極めて遺憾である。③市民窓口業務改善による費用対効果を今後検証する。④家庭ごみ有料化及び戸別収集化は市長が先頭に立ち説明責任を果たすと同時に市民理解の浸透を図るため引き続き丁寧な対応を要望する。⑤第四期長期総合計画策定は市民参加、協働をさらに推進し特色あるまちづくりに取り組んでほしい。以上を申し述べ賛成の討論とする。

賛成 政和会

将来を見越したいくつかの新しい動きが見られる

賛成の理由を以下に述べる。①市街地再開発事業など、新しい時代に向けた投資的事業の方向性がかつてなく明示された。②公共施設機能の再配置等に取り組み姿勢が示された。③家庭ごみ有料化が実施されるなど一層のごみ減量等への取り組みに注目する。④要望した学校給食への市内農産物利用拡大や児童発達支援センター設置、中学校通学路への防犯カメラ設置等に真摯に取り組む姿勢で臨んでいく。なお、オリピック・パラリンピック関連基金の積み立ては不要である。用途をより明確にした基金への衣がえを強く求める。窓口サービス向上に関する予算はサービス向上と経費節減に向け一層の検討が必要である。以上を申し述べ賛成の討論とする。

賛成 日本共産党小平市議団

命と健康・福祉、子育て支援の取り組みなどを評価

賛成の理由を以下に述べる。①国民健康保健事業への繰り出しを堅持している。②認可保育園開設等、子育て支援の予算となっている。③児童発達支援センター設置など障害児・者への福祉体制・支援等が図られている。④耐震改修補助の上限引き上げなど防災・安全の充実が図られている。⑤地域経済振興の取り組みへの努力を評価する。⑥子どもを真ん中において貧困等の解決と非核平和事業の充実等が図られている。⑦市民参加と協働でコミュニティタクシー4路線が実現した。なお、家庭ごみ有料化では指定ごみ袋値下げ等の見直しを求める。学校体育館のエアコン設置を広げるべきである。福祉予算を一層推進してほしい。以上を申し述べ賛成討論とする。

賛成 生活者ネットワーク

地域での子育てを支えるための施策等を評価

賛成の理由を以下に述べる。①地域での子育てを支えるための施策、②子どもたちの学びや食育の環境を整えるための教育施策、③障害のある子ども・大人が地域とともに育ち暮らすための施策、④女性相談の職員増員など女性施策、⑤都市計画公園の整備等の環境施策、⑥公園アダプト制度など参加・協働施策、⑦期日前投票の拡充など。以上の事業の継続や拡充を評価する。なお、小川駅西口地区市街地再開発での市民への情報提供と丁寧な対話を求めるほか、大型事業の中長期財政計画作成と提示、子育て施策へのビジョン提示、男女共同参画社会形成への理解、次長期総合計画策定における参加と協働などについて、要望等を行う。以上を申し述べ賛成討論とする。

反対 緑の党こだいら

町が縮む中で創意工夫のまちづくりの視点がない

反対の理由を以下に述べる。①消費税率増が前提の予算編成となっている。住民税非課税世帯等が対象のプレミアム商品券は、低所得者であることが不特定多数の人に知られプライバシー等侵害に相当するため問題である。②小川駅西口、小平駅北口の再開発事業について、大規模な駅前再開発を行う意味があるのか。戸建て住宅が広がる地域の特徴を生かしたまちづくりをすべきである。③公共施設統合等は避けて通れないが、新たな価値の創造やにぎわいの場づくりの視点がなければ町はただ縮むのみである。そのほか、オリピック・パラリンピック関連基金の廃止、受益者負担の見直し、空き家利活用への積極的な対応等を求める。以上、反対討論とする。

反対 ムサシ

経常収支比率の高どまりの状況が改善されていない

反対の理由を以下に述べる。①経常収支比率の高どまりの状況が改善されていない。②保育園増設等が財政を大きく逼迫させており、このままでは子や孫に多大な負債を押しつけることになる。③家庭ごみ有料化・戸別収集は市民理解を得る努力が不十分である。④議会は政務活動費等を検証することなく無批判に継続する姿勢を改め見えない。以上、反対討論とする。

※小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金